



お遍路さんと地域の橋渡し・1000年続く遍路文化を目指して

遍路とおもてなし通信

平成20年4月15日

第1号

梅原理事長より 創刊に寄せて

NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク

理事長 梅原 利之 (JR四国会長)

内閣府が行っている世論調査で「経済的豊かさと精神的豊かさのどちらを重視しますか」という質問に対して1970年代半ばを境に精神的豊かさが経済的豊かさを上回り、その差を広げています。

これは日本の社会が大きく変わりつつあることを示しています。精神的な豊かさを満足させてくれるのが人と人とのコミュニケーションや自然との触れ合いです。この点、四国の遍路道は「おもてなし」を通して、お遍路さんと地元の人々との心の交流が昔から続いてきました。また、四国の豊かな自然の中の遍路道は人々に安らぎを与え、精神的な満足感をもたらしてきました。これが、遍路文化が一二〇〇年も続いている大きな理由です。

最近、歩き遍路の方が増えているのを実感します。これは日本社会がますます多様な社会になりつつある裏返しかもしれません。人々は精神的な豊かさを求めて、この四国遍路に挑戦しているものと思われる。しかし、道は人が絶えず行き来して維持されます。人が通らなくなつた道は二年もすれば廃道になり、自然の中に消えて行きます。「おもてなし」の文化を失った遍路道からはやがて人が消え、道も消えるでしょう。私たちは一二〇〇年続いた遍路道をこれからさらに一〇〇〇年維持して行くために、遍路文化と自然の美しさを残して行く義務があります。

日本は経済的に豊かな国々の先頭集団の中にいます。日本が経験する精神的豊かさへの変化はやがては多くの国が直面するでしょう。その時、この四国の遍路文化が世界的に見直され、多くの人が訪れることになると思います。

そこで、世界中から多くの人が訪れても「おもてなし」文化が失われないうちに、このNPO法人が設立されました。時代が大きく変化しても精神的豊かさを求める人々は増えこそすれ、減ることはありません。

これからの時代にふさわしい文化を維持して行くためのサポートを行うために皆様のご協力をよりしくお願いいたします。



お遍路さんに纏わるエピソード

お遍路貯金箱

こんな素晴らしい話がありました

遍路という空間で

歩き遍路 柳瀬 悠子

(京都工芸繊維大学生)



以前の私は、良い結果が生まれると、それはあたかも己の力で成し遂げたように振る舞い、自分に驕っていました。反対に悪い結果が生まれると、人が不思議に思うほど自己嫌悪に陥っていました。成績や結果だけが自分の全てのように感じていたのです。自分に自信がないから、そうになっていたのかもしれない。

しかし、遍路に行ってから昔のような感情の浮き沈みが無くなったように思います。善悪に関わらず影響を与えてくれた人たちや環境があったからこそ今の自分があるということとを忘れ、いつのまにか感謝の気持ちを軽視していたと気づいたのが、大きなきっかけでした。

このことに気づかせてくれたのは、歩き遍路の巡礼中に、事務局長の松岡さんの紹介で善根宿として泊めていただいたお宅の奥様で、小学校の国語の先生をされている方でした。その先生はとても活発で、若い時にインドでバックパッカーをしたこともあるそうです。先生は非常勤講師として、授業も出来ないような問題学級に毎年赴任し、見事に生徒たちを蘇らせてきました。先生は、生徒と教師の信頼関係を勝ち取り、国語の授業を通して知識と教養だけでなく、人間学を教え、生きる希望を子供たちに与えていました。

教え子の一人は今まで勉強とはまったく縁がなく、まともに漢字も書けなかったそうですが、今では寝る間も惜しんで勉強をするようになったそうです。先生が太陽になることで、子供たちが輝き始めたのです。その先生は私にこう話してくれました。

「あなたが今ここにいることがもうすでに奇跡なんだよ。あなたが生まれるためには、1億2千万の中から、あなたのお父さんとお母さんが出会って、そしてあなたが生まれ、いろんな人に出会い、愛され、今こうして生きているのよ。仏教界ではそれは偶然起こったことではなく、必然だと考えるの。」と、教えてくれました。

お遍路は思いもかけないご縁を結んでくれる不思議な空間です。それは必然でもあり、感謝や思いやりの気持ちを大切にすれば、信頼の輪で人が結ばれていくようになる、そんな空間なのだと感じました。

NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク事務局

〒761-0104高松市高松町2306番地3 TEL087-843-4445 FAX087-843-4450

<http://www.omotenashi88.net> info@omotenashi88.sakura.ne.jp

松岡事務局長のあんな動き・こんな交流！？

事務局活動報告

おもてなしのネットワーク拡大中！！

～現在の主な動き～

1. 「石柱」

国際ロータリー第2670地区からの当法人への寄付をいただきました！
徳島県内21ヵ所の「石柱」設置費として利用予定です。
その他、香川県内で11ヵ所分のご寄付をいただいております。



ロータリー地区大会で授与式がありました。

2. 接待木「実のなる木」

- ① JR会長・社長よりJR四国全ての駅に植樹の許可をいただきました！
- ② 大和証券福祉財団より助成金を授与いただきました！
看板設置代として利用予定です。

大和証券での授与式が四国新聞に掲載されました →



3. NPO法人「LOOP88」(四国第二地銀の従業員組合が設立)との協力提携！

- ① 四国第二地銀：愛媛銀行・徳島銀行・高知銀行・香川銀行の全店が
「おもてなしステーション」に登録予定！
- ② 「実のなる木」を遍路道周辺銀行敷地内に植樹予定！
- ③ 「石柱」設置場所を全店周辺で調査協力のお話をいただいております。

4. 高松市観光課から活動補助金助成を受けました！

H19年度40万円：「高松地区など7ヶ寺歩き遍路体験マップ」22万部作成と、
「道案内シール」作成代の一部を助成いただきました。



高松市内にて配布中！

5. スペイン巡礼の道視察調査3年目！

今年は四国遍路のPRも兼ねて、スペインの巡礼の道に
英語版「道案内シール」を配布してまいります。



遍路道沿いに貼り付け中！

コカ・コーラ自販機にも貼らせていただいております。

6. 高知県観光協会・旅館業組合で講演！

3月28日、松岡事務局長が講師として当NPOの活動や「遍路とおもてなし」の在り方について
お話をいただきました。

より詳しい情報・最新情報は、 <http://www.omotenashi88.net> をご覧ください！

入会・活動参加のご案内

四国が好き、お遍路に興味がある、お接待の心を残したい、また、お遍路をした・お遍路をしてみたい、と思ってくださる方、
ご理解を頂きご入会を賜りますよう心からお願いいたします。

どうか、ご家族やご友人、お知り合いの方々に
もお声をかけていただければ幸いです。
みなさまの温かいご支援をお願い致します。

まずは事務局（HP・メール・TEL・FAX）
までご連絡ください。入会案内をお送りいたします。

<年会費と振込先>

郵便振込にてお振込みください。

◆口座記号：01670-0 ◆口座番号：92610

◆加入者名：遍路とおもてなしのネットワーク

◆賛助会員：1,000円

◆一般会員：3,000円

◆法人会員：10,000円

◆特別法人会員：50,000円



遍路大使・おもてなし大使

歩き遍路で結願した方、おもてなしに尽力された方を任命しています。



遍路大使 8,935人
おもてなし大使 494人
H16.4.～H20.4.10現在



「香川県NPO基金」をご存じですか？

寄付をしたいけど、手続きやしくみがよくわからない…
やり取りが面倒だ…という個人・企業を対象に、
香川県が窓口となり、広く寄付を受け付けております。

**寄付したいNPOを指定することができ、
税における控除も受けられます。**

ぜひこの制度を利用して、寄付をお願いいたします。

詳しくは当事務局または香川県総務部県民活動・男女共同参画課
ボランティア・男女共同参画グループ まで